

Basic Course for high school students

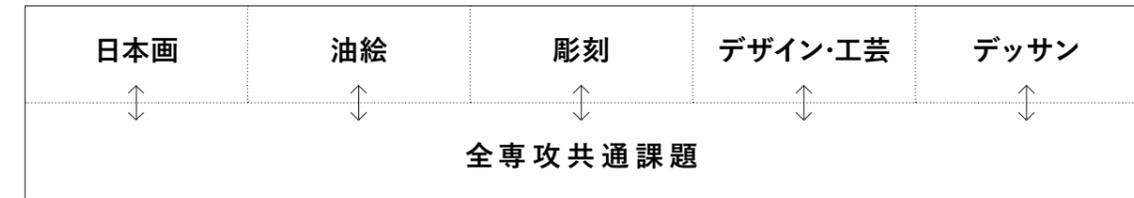


まずは基礎を学びながら
納得のいく進路選択をしましょう

美術やデザインに興味があるけれど、自分がどの分野に向いているのかをすぐに決められない方も多いためです。
河合塾美術研究所では、さまざまな専攻課題を試しながら、進路選択ができるカリキュラムを用意しているので、まずは基礎を学び始めてから、じっくり進路を選べます。

志望専攻が決まっている場合は
早期からの受験対応が可能

志望専攻が決まっている方は、専攻別課題にも取り組みます。
受験科を担当する専門分野の講師が指導します。



共通基礎を学びながら、進路選択と受験対策ができるカリキュラム

1 学期

すべてにつながる
共通基礎を丁寧に学ぶ

- ・ デッサンの基礎・光ゼミ
- ・ 色彩ゼミ：色彩のしくみを理解し、絵具の使い方を学ぶ
- ・ クロッキー：短時間で印象を捉える
- ・ 立体ゼミ（解剖学）：構造を把握する力、ボリュームに対する感覚を養う
- ・ デッサンコンクール（公開）：高1・2のみの実技で、自分の位置を知る
- ・ 三者面談

2 学期

応用課題や
専攻課題に挑戦

- ・ 自画像コンクール（塾展参加）
- ・ 細密ゼミ：観察力・造形力をつける
- ・ 逆光ゼミ：明暗の組み立てをクロッキーで体得
- ・ 専攻ゼミ：希望進路の専攻課題をレベルアップ
- ・ 期末石膏デッサン
- ・ ファイルゼミ：自分の視点や興味を掘り下げる特別課題
- ・ 三者面談

3 学期

経験者：進路選択・専攻別課題
初心者：基礎課題

- ・ 石膏デッサンコンクール（公開）：多数の参加者の中で実力を試そう
- ・ 進級説明会：受験までの道筋を理解しよう
- ・ 静物・構成デッサン：次年度に向けてデッサンの基礎力を高めよう
- ・ 専攻課題：高2生は進路の最終確認をしよう
- ・ 進路相談：受験や将来のことを相談しよう

年度の途中でも入塾可能
個別面談も随時受け付けます。

自分らしく受験に向かっていくために。
1・2年生の今だからこそ学ぶことに徹底的に取り組もう。

高1・2生 対象	基礎高1・2専攻 専科
	月・水 2日専科 [月・水] 17:30-20:30
	月・木 2日専科 [月・木] 17:30-20:30
	火・木 2日専科 [火・木] 17:30-20:30
	火・金 2日専科 [火・金] 17:30-20:30
	月・水・金 3日専科 [月・水・金] 17:30-20:30
	土曜専科 [土] 14:30-20:30

デッサンから色彩・立体まで、幅広い基礎力を身につけるカリキュラムを用意しています。

各曜日内で、デッサン課題のみを受講することも可能です。また、平日夜間（3日・2日）の設置クラスで、曜日選択がご都合と合わない場合は、入塾後にご相談ください。

高2からの
早期の受験対応も万全です

美術系高校の方など、志望する専攻が決まっている場合は、早期受験対応として、各専攻の専科（高2・3生対象）を受講できます。

デザイン、絵画、彫刻…さまざまな専門分野の講師陣が、道具の使い方から作品制作の考え方まで、一人ひとり丁寧に指導します。

指導スタッフ 講師一覧 P.80



上段：日置万里／伊藤洋介／木村謙吾／森彰男／大嶋捷太／下山凌吾／加未望



下段：平片仁也／延命奈優／佐々木陸／大須賀由／三好すず／縄見輔／碓井美虹



油彩

着彩

塑造

色彩構成



明暗ライティングゼミ

デッサンコンクール

石膏デッサンレクチャー

秀作展

現役合格のポイント ＝時間の有効利用



学校と両立できる 全6クラスを開設

部活動との兼ね合いや通学時間に合わせたクラスが選択できます。

複数のクラスを組み合わせることで、さらなる実力アップも可能です。

基礎専攻では、デッサンから、色彩、立体まで幅広くさまざまな課題に取り組み、受験の基礎となる総合的な実技力を養います。

各曜日内で、デッサン課題のみを受講することも可能です。

また、平日夜間（3日・2日）の設置クラスで、曜日選択が都合と合わない場合は、入塾後にご相談ください。

早期受験対応も おまかせください

美術系高校の方など、志望専攻が決まっている場合は、早期受験対応として、各専攻の専科（高2・3生対象）を受講できます。

授業料は便利な 月払い制もあります

授業料は一括納入制と、月払い制を選択可能です。月払い制は、月々の授業週数に応じて支払額が変わります。

曜日で選べる6つのクラス

2日専科 17:30 - 20:30 6時間/週

通いやすい曜日組み合わせを選んで、自分のペースで実力をつける！
平日週5日から4パターンの組み合わせで選べる2日専科4クラス

クラス	月	火	水	木	金	土
月・水 2日専科	●	-	●	-	-	-
月・木 2日専科	●	-	-	●	-	-
火・木 2日専科	-	●	-	●	-	-
火・金 2日専科	-	●	-	-	●	-

3日専科 17:30 - 20:30 9時間/週

じっくり納得できる実技時間で、課題の完成度を上げる！
月・水・金3日専科は週9時間課題に取り組むクラスです。

クラス	月	火	水	木	金	土
月・水・金 3日専科	●	-	●	-	●	-

土曜専科 14:30 - 20:30 6時間/週

集中的に学んで実力アップ。
土曜専科は、週末1日で6時間の実技に取り組むクラスです。

クラス	月	火	水	木	金	土
土曜専科	-	-	-	-	-	●



複数クラス受講例

平日は2日専科で学び、土曜日にはデッサンを強化！ 12時間/週

月	火	水	木	金	土
●	-	●	-	-	●

月・水2日専科 土曜専科

平日集中ダブルクラス受講で夜間4日間、さらに充実！ 12時間/週

月	火	水	木	金	土
●	●	●	●	-	-

月・水2日専科 火・木2日専科

1学期

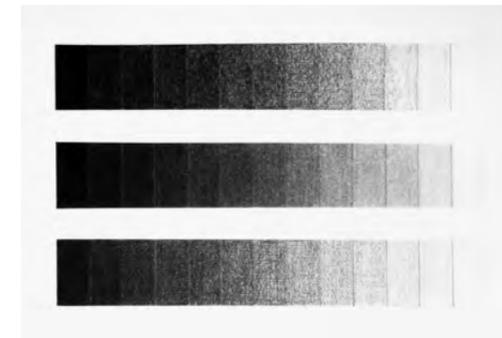
すべてにつながる
共通基礎を丁寧に学ぶ



ライティングデッサン（基本形体）



デッサンコンクール（7月） 構成デッサン



グレースケール



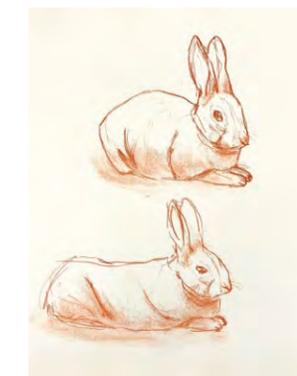
静物デッサン



色の三原色による着彩



色の三原色による着彩



動物クロッキー



石膏デッサン

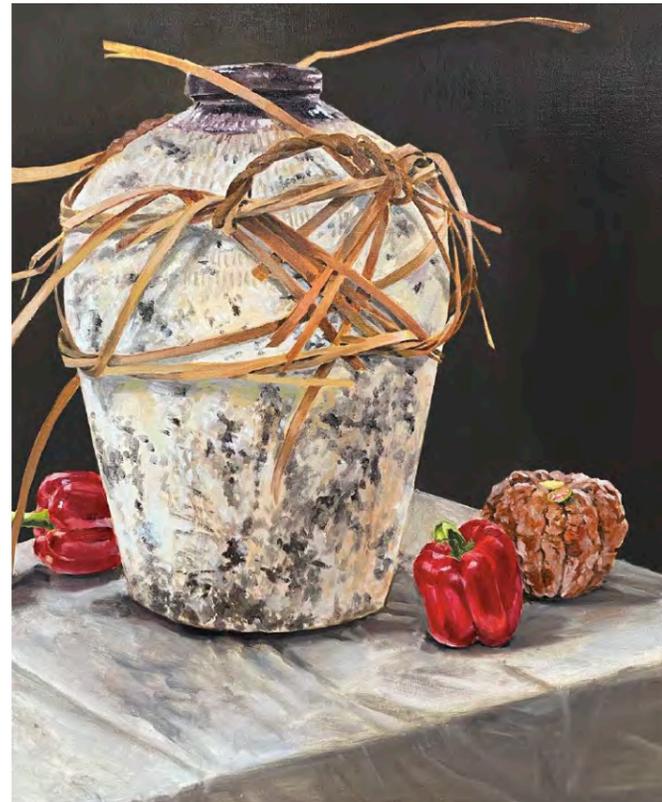


手の塑造

WORKS



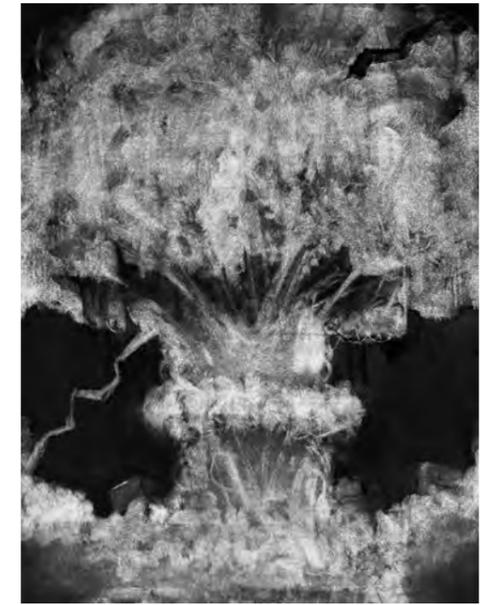
石膏デッサン



静物油彩〈油絵〉



静物着彩〈日本画〉



構成デッサン〈油絵〉



細密模刻



細密着彩



静物デッサン



立体構成〈デザイン・工芸〉



色彩構成〈デザイン・工芸〉



人物着彩〈日本画〉



塑像〈彫刻〉



色彩構成〈デザイン・工芸〉



動物油彩〈油絵〉

Interview

現役 基礎専攻生 インタビュー

- 1 ずばり河合塾を選んだ理由は？
- 2 一番楽しかった・ためになった課題は？
- 3 河合塾に入塾してよかったことは？
- 4 学校との両立はできていますか？
- 5 河合塾に通って感動したことは？
- 6 あなたにとって「基礎専攻」の魅力は？
- 7 今一番興味があることは何ですか？

土曜コース

伊藤 壮佑さん
東京・都立大泉桜高校1年



1 家から一番近く、通いやすかったから
2 石膏デッサンです。構図や細部の描写についてよく知れたからです
3 基礎をしっかりと学ぶことが出来た。いろんなモチーフを描くことが出来ること
4 定期考査で休むこともありますが、両立できています
5 デッサン、油彩などを深く学ぶことができる事と、先生方がとても優しいところ
6 立体・平面などを同時に細かく出来ることと、同世代のレベルを実感できること
7 油絵の古典技法を深く学びたいです。そして絵の色使いを学びたいです

平日2日コース

橋本 光琉さん
東京・成蹊高校2年



1 自宅からも学校からも通いやすい
2 3原色カラーチャート。始めに色について一から教えて下さり、詳しく理解してから実践できた
3 先生方が、的確で丁寧なアドバイスを下さること
4 週4で吹奏楽部の練習がありますが、自由に曜日の選択や振替ができるので両立できています
5 専攻別に参考作品が多く揃っていることと、モチーフの豊富さ
6 様々な専攻を志望する同年代の方々の作品を見られること
7 手の丸みを帯びた立体感を出すための面の取り方とそこから密度を上げてゆく為のプロセスを知りたいです



石膏デッサン



静物デッサン



構成デッサン〈デザイン・工芸〉



自画像〈油絵〉



静物油彩 (油絵)



静物着彩 (日本画)



色彩構成 (デザイン・工芸)



静物着彩 (日本画)



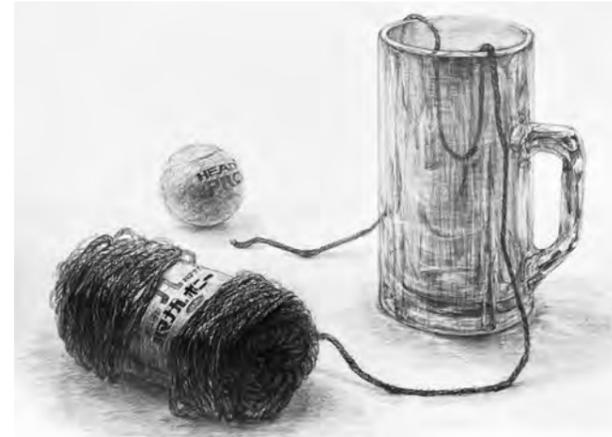
塑造 (彫刻)



石膏像模刻 (彫刻)



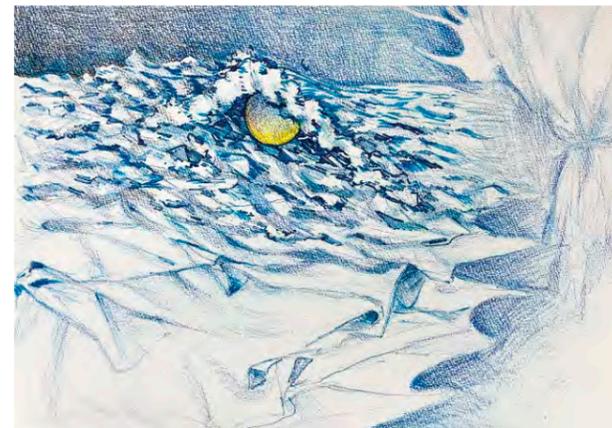
石膏デッサン



卓上構成デッサン



静物デッサン



ドローイング (油絵)



構成デッサン (デザイン・工芸)



色彩構成 (デザイン・工芸)

Interview

現役 基礎専攻生 インタビュー

- ① ずばり河合塾を選んだ理由は？
- ② 一番楽しかった・ためになった課題は？
- ③ 河合塾に入塾してよかったことは？
- ④ 学校との両立はできていますか？
- ⑤ 河合塾に通って感動したことは？
- ⑥ あなたにとって「基礎専攻」の魅力は？
- ⑦ 今一番興味があることは何ですか？

土曜クラス

神戸 乃菜さん
東京・成城学園高校1年

① 学校、自宅からのアクセスが良かったからです ② 石膏デッサンは構図など難しいことが多いですが、デッサン力の向上に役立ったと思います ③ 先生方との距離が近く、相談しやすいことです ④ 時間に追われることもありますが、両立しています ⑤ 一人一人に向き合ってくれて、先生方が親身に指導して下さるからです ⑥ デッサンから立体まで幅広く基礎を学べる場所だと思います ⑦ デッサン力を上げること。個性の表現についてです



平日2日コース

田倉 謙蔵さん
東京・都立神代高校2年

① 先生たちの雰囲気が良かったから。 ② 手の塑像と細密課題の立体!時間が一瞬で過ぎた ③ 実技面も学習面も両方カバー出来ること。あとはなにより先生が的確なアドバイスをくれるのでどんどん成長している実感がある! ④ 自分の好きな日に通えたりテストの時に通えなかった分を別日に振替できたりするので全然両立できます ⑤ 全員美術の道に進もうとしているので全員話が合う! ⑥ 色々な専攻の課題ができるので自分の好きな課題や向いている課題を見つけやすい! ⑦ デッサンでの質感の描き分け方を知りたい。音楽も好きなので音楽と美術を融合した作品を作ってみたい!!





現役合格
 荒井 結音さん
 東京藝術大学 油画専攻
 武蔵野美術大学 油絵学科
 東京・杉並学院高校

基礎専攻時代よかったこと・基礎専攻の頃はまだやりたいことが定まっていないからこそ、さまざまな画材、技法を体験して美術そのものの魅力を知ることができたと思います。良い意味でたくさん失敗を経験出来る環境でとてもありがたかったです！
 藝大現役合格の極意・上達のコツはどれだけ絵を好きなまま描き続けられるかだと思います！簡単なことではありませんが、絵と自分の適切な距離感を掴んでいくことが始めの一歩になると思います。アトリエの中だけでなく、外に出て沢山の経験をすることも大切にしてみてください！



現役合格
 上平 沙都さん
 武蔵野美術大学 日本画学科
 女子美術大学 日本画専攻
 東京・トキワ松学園高校

基礎専攻時代よかったこと・基礎専攻では様々な学科を志望する人が同じ場所で授業を受けるので、自分の学科以外の人の作品を見る機会が増えて良い刺激になりました。また、それぞれの学科ならではの作風が見られて自分の作品の幅を広げることも繋がりました。
 現役合格の極意・合格の極意は早く画塾に入って、人よりもなるべく多くの枚数の絵を描けるようにすることだと思います。描いた枚数は確実に受験でのアドバンテージになるので、対策に早く取り組むことが大切です。また、私大合格には好きなものを見つけ、作品のための引き出しを増やすことも重要だと感じました。



現役合格
 菅野 遥日さん
 多摩美術大学 グラフィックデザイン学科
 (学校推薦型選抜)
 東京・広尾学園高校

基礎専攻時代よかったこと・基礎専攻から通って良かったのは、「大勢の人が集まって同じ課題に黙々と取り組む」という場に、早い段階で慣れることができたことです。いよいよ受験対策の課題に取り掛かろうというときに、そういった場に他の人より慣れていることは、技術的な面だけでなく、受験に大切な精神的な面でのアドバンテージになるのだと思います。



お父さまの声
 芸大美大に進路を決めた経緯・小さい頃から絵を描くのが好きだった娘。中学受験を経た上でいざ将来の自分の仕事をイメージした時、やはりクリエイティブな道に進みたいと思う様になりました。私も地方から美大を志した経験から、そこで学ぶ事の価値に異論はありませんでした。その前段階として美術系予備校に通う事は、技法や考え方、そして描くペースを自身に根付かせる基礎固めとなります。他校も含めたいくつかの講習を経て、娘は河合塾美術研究所を選択しました。
 芸大美大を受験する保護者の方にアドバイスは？・学業や部活、そして予備校で多忙な受験生なので、心身に負担をかけさせたくないというのが親心だと思います。描いたものを見せてくれたら褒めてあげるのも親の役目です。しかし、やたらに褒めるのも考えものです。子供達は誰よりも自分の仕上がりを気にかけているし、その作品をどう思ったか、本音の意見が欲しい時もあります。見せてくれた時だけで良いので、その声に応じてあげてください。

保護者から見た現役合格のポイントとは？・全てを対策通りにやるのではなく、クリエイターとしての卵として自分の可能性にける度胸も尊重して良いのではないかと思います。基礎的な技術はもちろんあるに越した事はないですが、卓越した技巧よりも問題に対する切り口の面白さが評価される側面があります。自分があまりやったことの無い構成でも、面白いと信じた事を紙に描いていく。その勢いは確実に人の心に伝わるものだと思います。



始めたころのデッサン



受験時油彩



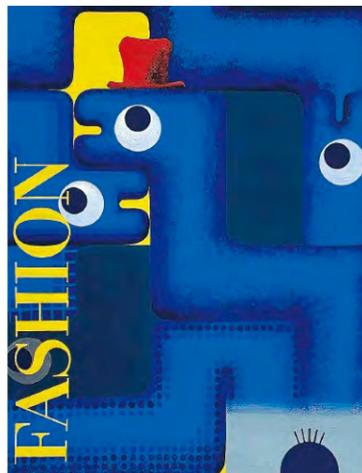
始めたころの着色



受験時デッサン



始めたころの色彩構成



受験時色彩構成

デザイン・美術の仕事って？美術予備校、基礎専攻って？

将来への投資をしよう

高校1・2年生が予備校で行う、もっとも重要なことは、なんでしょうか。目の前の入試準備？もちろんそれは大切です。しかしこの時期に、もっと広い視野で、将来への投資をすることをおろそかにしては、もったいない…。そんなお話をしたいと思います。

小手先の技術ではない「基礎」を身につけよう

美術予備校は、大学に合格するためだけに存在しているわけではありません。大学に入って、さらに社会に出てから必要になる、“創作する人”としての習慣、思考や視点などといった、本質的な基礎力を養うところなのです。

“一流”になるには？

たとえば、サッカー選手であれば、ボールを蹴る、止めるといった基本技術はもとより、視野の広さ、ゲームを読む力、集中力、持久力、耐えどころ攻めどころの勘など、どれが欠けても一流にはなれません。デザインや美術も同じです。目の前のものが上手く描けることは基本ですが、それを活かす構図や作品の狙い、サッカーと同じく集中力や持久力、自分の作品が成立する背景の理解や、同時代の創作や美術史のリサーチなど、さまざまな要素が必要なのです。

「コミュニケーション」と「多様な経験」が大切

創作はひとりで行うことだと思われがちですが、実は、他の人とのコミュニケーションなしには成り立ちません。他の人の創作を認めることによって、自分を知る。そんな、自学自習ができる人になってください。そのためにも、この時期に多様な経験をし、友人や講師と出会うことが大切なのです。

河合塾・基礎専攻では、いろいろな専攻課題を試し、さまざまな専攻の講師が多角的にアドバイスできるカリキュラムを用意。広い視野で、自分の創作を考える環境を大切にしています。

ここでご紹介するのは、そんな河合塾・基礎専攻から巣立った先輩からのメッセージ。みなさんの先輩は、デザイン、アートのさまざまな分野で活躍されています！



村尾 拓美さん
 デザイナー
 東京藝術大学大学院 工芸専攻修了
 神奈川・桐蔭学園高校出身

制作活動で大事な流れを体験することができた

基礎専攻の自由課題で初めて靴を作りました。作り方を調べて、素材を探しに行っ、作ってみて展示する、という制作活動で大事な流れを体験することができ、それは今でも変わらず続いています。当時はやりたいこともまだぼんやりした高校生でしたが、大学に入る前にこれが経験できたのは大きかったなと今では思います。



3



4



5



1



2

1 Photography by YASUNARI KIKUMA / Hair and Makeup by Miki Marutani, Sachiko Hayashi and Yuka Ishizuka for SHISEIDO / Model Fumiya Yagi © FASHION FRONTIER PROGRAM
 2 Photography by YASUNARI KIKUMA / Hair by ABE(MO) / Make up by yUKI(MO) © FASHION FRONTIER PROGRAM | FASHION FRONTIER PROGRAM 2022 準グランプリ “リボンの男たちへ”
 3, 4, 5 Photography by Kenji Agata